

第46期 上半期報告書

2014年4月1日～2014年9月30日

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

株式会社 セゾン情報システムズ

証券コード：9640

ITで未来を創る
～私たちの挑戦～



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の経営に多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第46期上半期（2014年4月1日～2014年9月30日）の業績と新中期経営計画の進捗状況についてご報告申し上げます。

2014年11月

代表取締役社長 **宮野 隆**

● 当上半期の事業環境と業績についてお聞かせください。

日本経済が消費増税による景気減速が懸念されたものの回復基調で推移する中、情報サービス業界も、企業の情報化投資に対する姿勢の改善を受け、回復傾向にあります。

このような経営環境において、当社グループは、情報処理サービス、システム開発、パッケージ販売の3分野をバランス良く展開している事業特性を活かし、各事業間のシナジーを高め、既存顧客との取引拡大、新規顧客の獲得に努めた結果、当上半期の連結業績は、売上高15,363百万円、営業利益1,290百万円、四半期純利益812百万円となりました。

● 当上半期の事業ごとの取り組みと進捗の手応えをお聞かせください。

この4月より新中期経営計画「布石を成果に～成長は挑戦の先に～」をスタートさせました。この上半期においては、事業間で進捗にバラつきが出る結果となりました。

前中期経営計画期間中にデータ連携に強みを持つ（株）

アプレッソをグループに迎え、新体制による挑戦を進めてきたHULFT事業は順調に進んでいると捉えています。両社の既存代理店の役割を分け、協業体制を強化したことで、既存商品が伸長しているほか、様々なシステム、クラウド、データ、ビジネスを連携させることのできる新製品「HULFT*（ハルフト）8」の販売開始（12月8日予定）に向け、開発も順調に進んでいます。

また、しばらく足踏み状態が続いていた中国展開において、中国向け製品「海度（ハイドゥ）」の販売数が伸長し、業績に貢献し始めました。さらに次なる海外展開の拠点を東南アジアと定め、市場調査や商品セミナー開催等新たな挑戦をスタートさせています。

流通サービスシステム事業は、小売・流通・サービス業をターゲットにした営業活動が奏功し、新規顧客が増え始め、計画を上回る好調さを見せています。前中期経営計画期間中に導入した「GeneXus*（ジェネクス）」に興味を示していただけのお客様も非常に多く、当ツールを活用した効率的な開発を進めています。さらに、流通小売で必要とされるすべての機能を充足させる新製品「STORES*（ストアーズ）クラウド」の開発にも着手しました。

金融システム事業では、近年業績を牽引してきた大型システム開発案件において、障害対応及び品質改善コス

当上半期のポイント

金融システム事業においてシステム開発の収益性が低下

大型システム開発案件における障害対応及び品質改善コストが増加

事業間扶助の効果で全体業績への影響をカバー

バランスよく展開する事業特性から、事業間扶助の効果が働き、影響をカバー

新中期経営計画がスタート

その進捗は事業間でバラつきのある結果に

トが増加したこと等により、利益面で影響が出てしまいました。開発体制の変更・強化を実施し、早期収束に向け、下半期において品質改善及び機能向上等に取り組んでまいります。

一方で、メーカーによる保守を受けられなくなってしまうハードウェアを、メーカーに代わり延長して保守をする「ハードウェア延長保守サービス」は、想定以上の引き合いをいただいております。これはその後に当社のクラウド型ホスティングサービス「SAISOS*（サイソス）」に移管していただける可能性を秘めており、今後に期待できる状況です。



BPO事業は、前中期経営計画期間から取り組んでいる新たなサービスとなる次期「Bulas*（ビューラス）」の開発を進めており、2015年1月の第1次リリースを目指しています。リリース後は、既存サービスからの移行や新規顧客の獲得に注力し、既存サービスからの移行が完了する3年後以降、売上・利益ともに業績に寄与する事業へと道筋をつけていきます。

●株主の皆様へメッセージをお願いします。

新中期経営計画は始まってまだ半年ですが、下半期においても、新中期経営計画の重点施策としておている「事業基盤の拡充」「競争力の強化」「人材の育成と確保」に積極的に取り組んでまいります。

なお、中間配当金につきましては、当初予定通り1株当たり10円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

*HULFTは、当社のファイル転送パッケージ製品です。

*GeneXusは、プログラムコードを自動生成する開発ツールです。

*STORESは、当社で提供している、流通小売チェーン向けの統合ソリューションサービスです。

*SAISOSは、当社のクラウド型ホスティングサービスです。

*Bulasは、当社で提供している、給与計算や勤怠管理のサービスです。

*詳しくは、P.13の用語解説も合わせてご覧ください。

▶ 事業紹介



セゾン情報システムズは
私たちの暮らしを支える
事業を展開しています

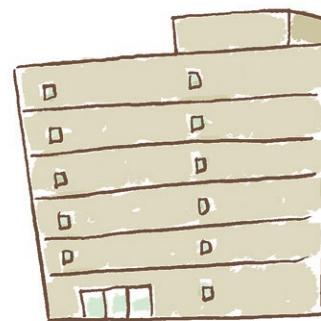
金融システム事業

国内でもトップクラスの加入者を有するセゾンカードの情報システム構築から運用管理までを一貫して行っています。また、生損保業界等クレジットカード以外の業界にも事業を展開しています。今後は引き続き既存顧客の大型システム開発案件を着実に遂行するとともに、新規顧客の開拓にも注力していきます。

BPO事業

給与計算、勤怠管理等人事部門の業務を代行するアウトソーシング/ASPサービス「Bulas（ビューラス）」を提供しています。加えて、携帯電話やスマートフォンから給与明細を確認できるサービスやインターネット経由で勤怠を申請できるサービスも展開しています。市場における優位性を確保するため、現在新たな「Bulas」の開発を進めています。

当社が展開している4つの事業(金融システム、流通サービスシステム、BPO、HULFT)のサービスが日常生活の様々なシーンで活用されています。ここでは、その一例をご紹介します。



データ

より詳細な事業内容は、当社ウェブサイトに掲載しております。是非ご覧下さい。
右のQRコードもしくは以下のURLからアクセスいただけます。

<http://home.saison.co.jp/ir/privateinvestor/index.html>

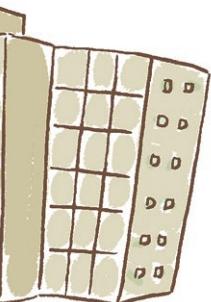


お客様の業務に必要なデータをお預かりし、運用管理等のサービス提供を通じてお客様の負荷を削減しています。



流通サービス システム事業

スーパーマーケットやコンビニエンスストア等に並ぶ膨大な商品の管理をはじめ、受発注、物流倉庫管理、要員の配置等多岐に渡る業務を抱える小売業の現場を支えているのが当社のソリューションです。今後は新規顧客の開拓やクラウド関連ソリューション等の新製品・サービスの開発を推進していきます。



センター



HULFT事業

銀行とATM、本社と工場、小売店と物流倉庫等、私たちの社会を行き交う無数のデータを安全かつ迅速につなぐ役割を担っているのが、当社の自社開発パッケージ製品「HULFT (ハルフト)」です。今冬には新しいバージョンの製品をリリースし、国内での販売強化を図るとともに、並行してグローバル進出の準備を進めています。

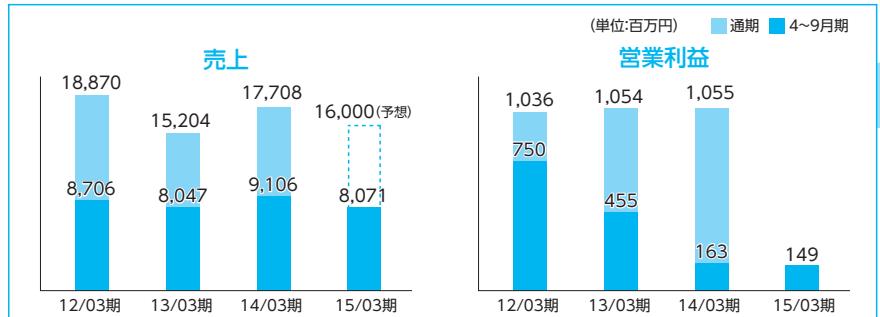
▶ セグメント別財務状況



セゾン情報システムズが展開している4つの事業
(金融システム、流通サービスシステム、BPO、HULFT)の
当上半期の財務状況についてお知らせします。

金融システム事業

売上**80億円**
(前年同期比△11.4%)
利益**1.4億円**
(前年同期比△8.6%)



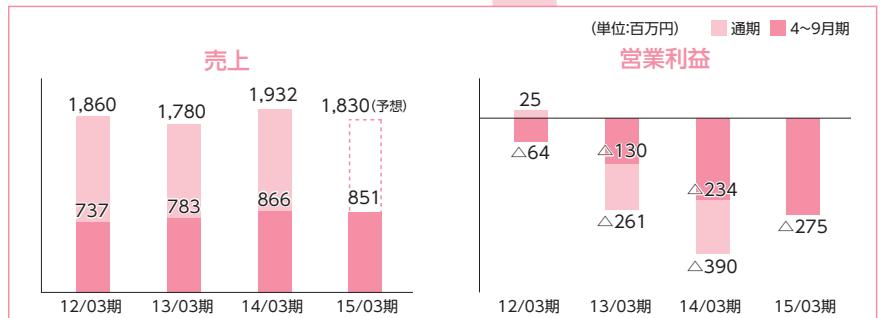
- ・既存顧客向けの情報処理サービスが堅調に推移したものの、既存顧客向けのシステム開発が減少したこと等により、売上は減少しました。
- ・大型システム開発案件における障害対応及び品質改善コストの増加等によりシステム開発の収益性が低下したこと等により、営業利益は減少しました。

全社

売上**153億円**
(前年同期比△4.9%)

BPO事業

売上**8億円**
(前年同期比△2.0%)
利益△**2.7億円**
(前年同期は△2.3億円)



- ・「Bulas Payslip Mobile* (ビューラスペイスリップモバイル)」の計算人員数が減少したこと等により、売上は減少しました。
- ・売上の減少及び品質向上活動等のコストが増加したこと等により、営業利益は減少しました。

*Bulas Payslip Mobileは、インターネットを利用して社員への給与明細を配信するサービスです。詳しくは、P.13の用語解説も合わせてご覧ください。

※掲載されている4つのセグメントの合算額と全社の業績値は、別途「その他調整等」があるため一致いたしません。
 ※2015年3月期より売上計上基準を変更しており、2014年3月期実績については遡及処理後の数値を記載しています。

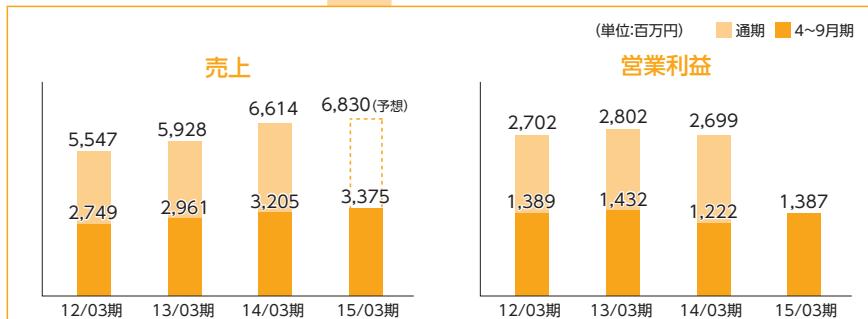


流通サービスシステム事業

売上21億円
 (前年同期比+0.5%)
利益△0.1億円
 (前年同期は△0.7億円)

合計
利益12.9億円
 (前年同期比+27.7%)

- ・既存顧客向けの情報処理サービスが若干減少したものの、新規顧客向けのシステム開発が順調に推移したこと等により、売上は増加しました。
- ・情報処理サービスにおいて原価見直し等の収益性向上に努めたこと等により、営業利益は増加しました。



HULFT事業

売上33億円
 (前年同期比+5.3%)
利益13.8億円
 (前年同期比+13.7%)

- ・「HULFT (ハルフト)」の累計出荷数は、約168,000本となり、導入社数は7,900社を超えました。
- ・「HULFT」及び関連製品の販売が堅調に推移するとともに、(株)アプレッソとの協業によるシナジー拡大等により、売上は増加しました。
- ・収益性の高い製品販売及び保守販売が堅調に推移したこと等により、営業利益は増加しました。

※2015年3月期より売上計上基準を変更しており、2014年3月期実績については遡及処理後の数値を記載しています。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 (2014年9月30日現在)	前期末 (2014年3月31日現在)
流動資産	16,069	16,149
固定資産	10,253	10,446
資産合計	26,323	26,595
流動負債	7,031	7,540
固定負債	2,328	2,472
負債合計	9,359	10,013
純資産合計	16,963	16,582
負債純資産合計	26,323	26,595

【連結貸借対照表のポイント】

四半期純利益の計上により利益剰余金が増加等した一方で、法人税等の納付により未払法人税が減少したこと等により、全体として272百万円減少しました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	前第2四半期 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,673	1,415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△836	△624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△619	△639
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	4
現金及び現金同等物の増減額	224	156
現金及び現金同等物の期首残高	9,550	7,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,775	7,645

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	前第2四半期 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)
売上高	15,363	16,150
売上原価	11,735	12,936
売上総利益	3,627	3,214
販売費及び一般管理費	2,337	2,204
営業利益	1,290	1,010
営業外収益	52	54
営業外費用	20	22
経常利益	1,321	1,042
特別利益	0	0
特別損失	3	13
税金等調整前四半期純利益	1,318	1,028
法人税等	504	446
少数株主損益調整前四半期純利益	814	581
少数株主利益	1	0
四半期純利益	812	580

【連結損益計算書のポイント】

金融システム事業において既存顧客向けシステム開発が減少したこと等により売上高が減少したものの、HULFT事業において収益性の高い製品販売及び保守販売が堅調に推移したこと等による利益が増加し、結果として減収増益となりました。

【連結キャッシュ・フロー計算書のポイント】

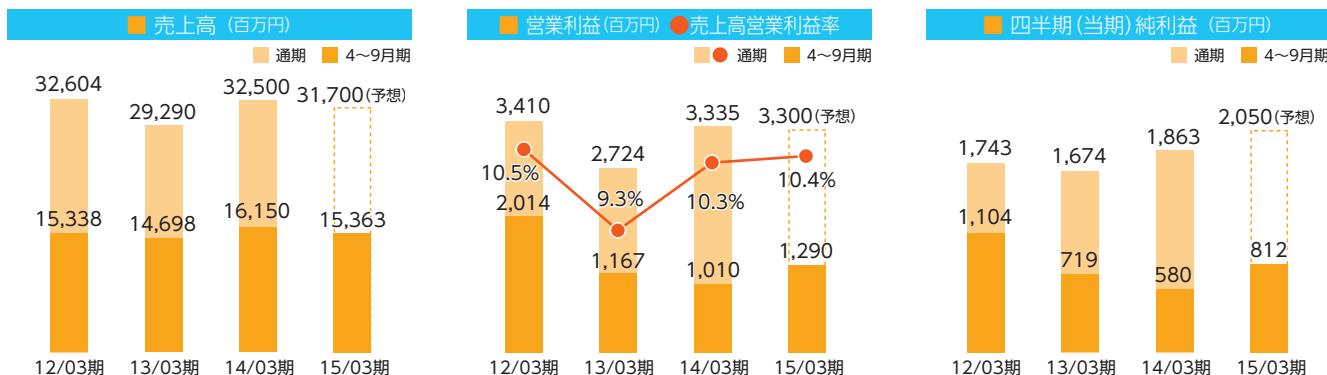
税金等調整前四半期純利益を計上したこと、サーバー・通信機器及びソフトウェア等の投資をしたこと等により、当第2四半期末における現金及び現金同等物は9,775百万円となりました。

※2015年3月期より売上計上基準を変更しており、2014年3月期実績については遡及処理後の数値を記載しています。

財務ハイライト

(単位：百万円)

	第41期 2010年3月期	第42期 2011年3月期	第43期 2012年3月期	第44期 2013年3月期	第45期 2014年3月期	第46期上半期 2014年9月期
連結経営成績						
売上高	26,127	27,984	32,604	29,290	32,500	15,363
営業利益	2,489	2,957	3,410	2,724	3,335	1,290
営業利益率 (%)	9.5	10.6	10.5	9.3	10.3	8.4
経常利益	2,524	2,930	3,450	2,736	3,350	1,321
経常利益率 (%)	9.7	10.5	10.6	9.3	10.3	8.6
四半期 (当期) 純利益	997	1,476	1,743	1,674	1,863	812
四半期 (当期) 純利益率 (%)	3.8	5.3	5.3	5.7	5.7	5.3
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	61.57	90.69	107.64	103.39	117.37	50.15
連結財政状態						
総資産	19,965	23,132	26,506	25,066	26,595	26,323
純資産	13,194	14,020	14,961	16,160	16,582	16,963
流動比率 (%)	276.2	205.4	171.8	206.5	214.2	228.5
自己資本比率 (%)	66.1	60.6	56.4	64.5	62.3	64.4
1株当たり純資産 (円)	814.46	865.48	923.56	994.34	1,043.19	1,047.13
その他指標						
1株当たり配当金 (円)	40.00	40.00	35.00	35.00	35.00	10.00
配当性向 (%)	65.0	44.1	32.5	33.9	29.8	—
ROE (%)	7.7	10.9	12.0	10.8	11.4	—
ROA (%)	12.7	13.6	13.9	10.6	13.0	—



▶ 中期経営計画の概要

新たに策定した新中期経営計画のテーマは「布石を成果に ～成長は挑戦の先に～」と決めました。これまで取り組んできた施策を確実に成果に結び付けるとともに、更なる布石を打つことで継続的に成長できる企業となるべく、これまで以上に挑戦していく、というコンセプトのもと、「事業基盤の拡充」「競争力の強化」「人材の育成と確保」を重点施策として取り組んでいきます(セグメント別の重点施策については右ページをご覧ください)。

これらの重点施策に全社一丸となって取り組み、新中期経営計画最終年度(2017年3月期)には売上高375億円、営業利益57億円の達成を目指します。

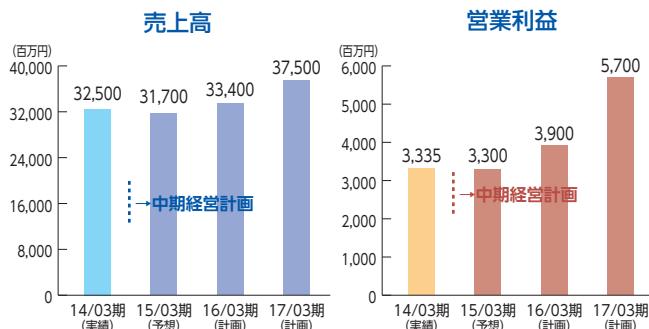


■ 中期経営ビジョン

布石を成果に ～成長は挑戦の先に～

これまで取り組んできた施策を成果として花開かせ、
これからの成長に向け更なる布石を打つことで、
継続的に成長できる企業となるべく、
これまで以上に挑戦していく

■ 中期計数計画



※2015年3月期より売上計上基準を変更しており、2014年3月期実績については遡及処理後の数値を記載しています。

■ 中期経営方針/中期重点施策

これまでの布石を確実に成果にし、
これからの成長に向け更なる布石を打つ



事業基盤の拡充

- ・顧客基盤の拡充
- ・ストックビジネスの拡大
- ・新規事業/ビジネス/商品・サービスへの取り組み

競争力の強化

- ・リリースした商品・サービスの市場価値向上
- ・業務の生産性向上/品質向上

人材の育成と確保

- ・常に成長意欲の高い人材、挑戦する人材の創出

■ セグメント別中期重点施策

事業基盤の拡充

金融システム事業・流通サービスシステム事業

既存顧客との取引の拡大深耕及び新規顧客の開拓を推進し、顧客ニーズやトレンドにマッチした新たなストック型ビジネスを創出するとともに、「SAISOS(サイソス)」等高品質なデータセンタービジネスの拡大に取り組んでいきます。

BPO事業

次世代の人事・給与業務システムである新たな「Bulas(ビューラス)」を展開し、新規顧客の獲得及び新サービスの提供等により新たな事業基盤の確立を図っていきます。

HULFT事業

グローバルビジネスの拡大等積極的な顧客獲得を推進し、国内及び海外マーケットシェアの拡大に注力するとともに、新製品創出のための研究開発活動を推進していきます。

競争力の強化

金融システム事業

「SAISOS」等ストック型ビジネスの拡大に努めるとともに、新規顧客獲得に積極的に取り組んでいきます。

流通サービスシステム事業

開発ツールの活用により短納期・高品質のシステム開発を実現していきます。

BPO事業

新たな「Bulas」を展開し、効率的なシステム導入及び生産性向上を実現し市場競争力の強化を図っていきます。

HULFT事業

新製品のリリースとその拡販に努めるとともに、連結子会社である(株)アプレzzoと連携した製品開発に取り組み、ファイル転送及びデータ連携市場におけるポジションをより強固なものにしていきます。

その他部門(スタッフ部門等)

業務効率化を図るとともに各事業のビジネス展開を積極的にサポートし、企業価値向上に取り組んでいきます。

人材の育成と確保

個々の成長ステージに合わせた育成計画の推進や技術研修等を実施するとともに、ITベンダーとして必要な資格取得に取り組み、技術レベルの向上を図っていきます。また、事業のグローバル展開を見据えた人材の登用及び育成を図っていきます。

▶株主スクエア

第45期報告書送付の際に実施いたしました「株主様アンケート」にて、多くの株主様からご回答をいただきました。厚くお礼申し上げます。ここではアンケートの結果（抜粋）をご報告するとともに、特に多くいただいたご質問・ご要望をご紹介します。

アンケート調査結果（回答数……4,910件 回答率……77.4%）

今後お知りになりたい当社情報について

（複数回答可）

1. 今後の戦略・計画について 55.9%
2. 事業内容の詳細 36.8%
3. 配当について 24.6%

「今後の戦略・計画」について多くのご回答をいただいたことから、本報告書において、事業紹介や中期経営計画の概要について掲載いたしました。

今後充実を期待するIR活動について

（複数回答可）

1. ホームページの充実 34.1%
2. 事業報告書の充実 29.4%
3. 企業メッセージの発信 24.5%

ホームページの充実についてはページ下段に掲載いたしました。そのほか事業報告書の一層の充実を図るとともに、今後も当社の魅力をわかりやすくお伝えできる情報発信に努めてまいります。

Q. ホームページのリニューアルについて教えてください。



第46期は新たな中期経営計画の初年度でありコンテンツ内容を刷新するとともに視覚的にも新しさを伝えるため、また、最新のスマートデバイス等のインターネット利用環境に対応するため、2014年7月にコーポレートサイトのリニューアルを実施いたしました。

当社コーポレートサイトでは業績・財務情報をご確認いただけるほか、最新資料やニュースリリース等、株主・投資家の皆さまにより理解いただきやすいコンテンツをご用意しております。



Q. 今後どのような事業計画や成長戦略を描いていくのか、これからどのように業績を伸ばしていくのか、知りたいです。

第46期より新たな中期経営計画が始まりました。第46期上半期の振り返りについては、トップインタビュー内にて掲載しておりますのでご覧ください (P.1-2)。また、中期経営計画の概要についてまとめておりますので、あわせてご覧ください (P.9-10)。



Q. 配当に関する考え方を教えてください。

○業績との連動性強化
連結当期純利益の3割前後を目安に配当を確保いたします。
○安定配当
万一の業績悪化時にも、1株当たり10円の配当金を維持するよう努めております。
○中間配当について
より株主の皆さまに利益還元できるよう、安定配当部分の10円を中間配当として実施しております。



Q. 報告書の中には専門用語やカタカナ語が多く使われているため、理解しやすくして欲しい。

報告書内に当社もしくは業界特有の単語があった時に参照できるよう、用語解説を一カ所 (P.13) に集約しましたので、ぜひご覧ください。



今後の事業報告書の紙面づくりやIR活動の参考にするために、同封の株主様アンケートへのご記入、ご返送をよろしくお願い申し上げます。ご回答いただいた単元株主様 (100株以上の当社株式をご所有の株主様) には、もれなくQuoカード500円分を進呈いたします。また、単元未満株式をお持ちの株主様 (100株に満たない当社株式をご所有の株主様) には、抽選でQuoカード500円分を進呈いたします。詳細につきましては、アンケートはがきをご参照ください。

※Quoカードの発送は順次対応いたしますが、お時間をいただくこともございます。ご了承ください。

よく用いられる用語集

クラウド

インターネットを介したコンピューターの利用形態のひとつです。利用者自身でソフトウェアやハードウェアを保有・管理する必要がなく、インターネットへの接続環境さえ整っていれば活用できるのが特徴です。

ビッグデータ

従来のシステム等では記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群のことです。今まで見過ごされてきたデータ群を解析等することで、ビジネスや社会に有用な知見を産み出す可能性が高まるとされています。

モバイル

携帯電話やスマートフォン等の携行可能な通信機器のことを指します。外出先等いつでもどこでも自由にインターネットに接続することができ、現在では、ビジネス、プライベート問わずあらゆるシーンで利用されています。

ソーシャルメディア

利用者の発信した情報や利用者間のつながりによってコンテンツを作り出す要素を持ったWebサイトやネットサービスなどを総称する用語です。ブログやツイッター等がこれにあたります。

BPO (ビーピーオー)

Business Process Outsourcingの略で、企業が自社の業務処理を外部に委託することを指します。当社では人事業務にかかわる業務を受託しています。

Bulas (ビューラス)

BPO事業で提供している、給与計算や勤怠管理のサービスです。

Bulas Payslip Mobile (ビューラスペイスリップモバイル)

BPO事業で提供している、インターネット経由で給与明細を社員に配信するサービスです。

GeneXus (ジェネクス)

業務要件を入力することにより、業務システム(プログラム・データベース)を自動生成する開発ツールでウルグアイARTech(アルテッチ)社の登録商標です。

STORES (ストアーズ)

当社で提供している、流通小売業の経営課題を必要最小限の投資により最大効果で解決する、小売チェーン向け統合ソリューションサービスです。

HULFT (ハルフト)

システム間でデータをやり取りする際のファイル転送を実行するパッケージ製品です。WindowsやUNIX(ユニックス)といった、異なるプラットフォーム間でもデータのやり取りを可能にしています。

SAISOS (サイソス)

当社が提供するクラウド型ホスティングサービスです。お客様のデータ等を当社でお預かりし、お客様は自前の設備を持つことなく、サービスを提供することができます。

ストックビジネス

契約に基づき固定的かつ定期的に収益が得られるビジネスのことです。これに対し、システム構築や機器販売など一時的な収益を得るものは「フロービジネス」とされます。当社では、自社データセンターを活用した運用サービスやHULFT製品の保守サービス、SAISOS、給与計算代行サービスなどがストックビジネスにあたります。

株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式の総数 16,200,000株
 株主数 6,193名

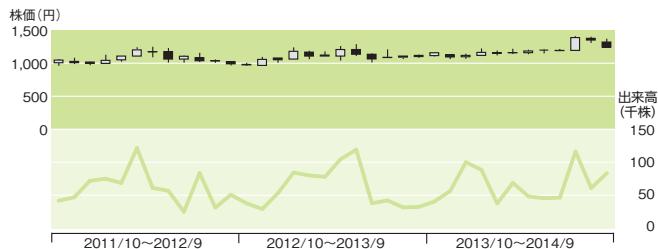
大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社クレディセゾン	7,588	46.84
ロイヤルバンクオブカナダ トラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	4,488	27.71
セゾン情報システムズ社員持株会	599	3.70
株式会社インテリジェントウェイブ	500	3.09
大日本印刷株式会社	307	1.90
有限会社福田製作所	200	1.23
株式会社みずほ銀行	196	1.21
ノーザントラストカンパニーエイブイ エフシーリフィデリティファンズ	147	0.91
協和青果株式会社	101	0.62
株式会社三菱東京UFJ銀行	80	0.49
富士通株式会社	80	0.49

今後のIRスケジュール(予定)



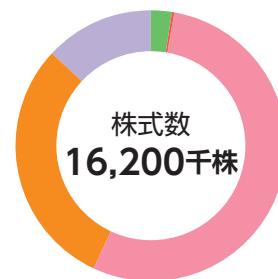
株価・売買高の推移



所有者別分布状況

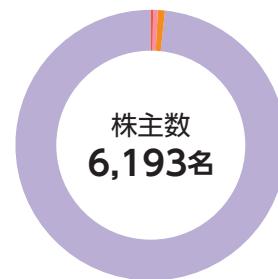
株式分布状況

株主	%
金融機関	2.57
証券会社	0.12
その他の国内法人	54.39
外国法人等	30.08
個人その他	12.84



株主分布状況

株主	%
金融機関	0.15
証券会社	0.21
その他の国内法人	0.60
外国法人等	0.81
個人その他	98.23



■ 会社概要

商 号 株式会社セゾン情報システムズ
 SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.
 設立年月日 1970年9月1日
 資 本 金 13億6,768万7,500円
 従 業 員 数 1,261名(連結)、766名(個別)
 本店所在地 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
 TEL:03(3988)2020(代表)

■ 役員構成

代表取締役会長	横	山	三	雄
代表取締役社長	宮	野		隆
取 締 役	野	津	浩	生
取 締 役	赤	木		修
取 締 役	土	橋	眞	吾
取 締 役	水	江	司	二
取 締 役	内	田	和	弘
取 締 役	吉	野	眞	純
取締役(非常勤)	安	達	一	彦*
取締役(非常勤)	川	野	忠	明*
監 査 役	菅	崎		悟
監 査 役	北	條	慎	治*
監査役(非常勤)	石	井	泰	次*
監査役(非常勤)	小	川	憲	久*

* 社外取締役、社外監査役

■ 関係会社の状況

株式会社フェス	資本金 : 6,000万円 出資比率 : 100% 事業内容 : 情報処理サービス
世存信息技术(上海)有限公司	資本金 : 1億円 出資比率 : 100% 事業内容 : ソフトウェア開発 パッケージ販売
株式会社アプレッソ	資本金 : 2億6,700万円 出資比率 : 97.63% 事業内容 : ソフトウェアパッケージ の開発、販売、サポート

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	3月31日から3ヶ月以内
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当を行う場合は 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社
〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	〒168-8507
	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL : 0120-288-324 (フリーダイヤル)